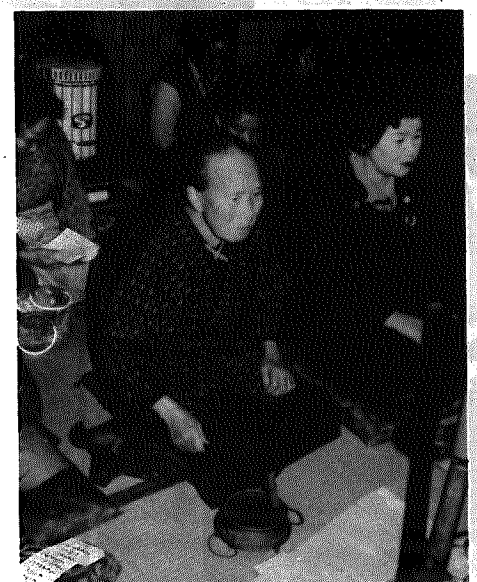


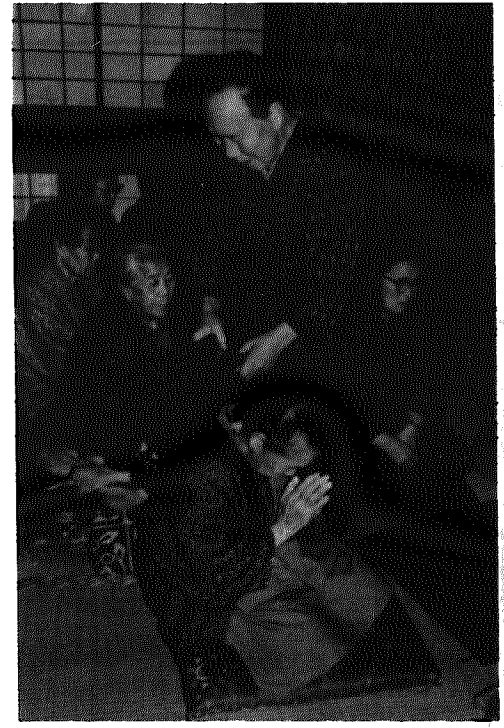


▲地蔵講というのは、念仏講の一種。大きな数珠を念仏を唱えながら回す。



◀カーン、カーンと打つ鐘の音に合わせて、念仏を唱える。

▼百万べん念仏が終わると、一人ひとりの背中や頭を束ねた数珠で打って、家内安全と健康を祈る…。



▲こちらは、地蔵様にお供えするだんご作りに忙しい台所。できたてのだんごは、うちわですばやく固められる。

間瀬高屋地区の古行事「地蔵講」

なんまいだも なんまいだも……



▲海雲寺への石段は長い——「地蔵講」のために、一步一步この石段を登りつめるおばあさんのうしろ姿が印象的だった……。

間瀬の高屋地区で、お年寄りたちの間に「地蔵講(じそうこう)」という珍しい講が受け継がれている。毎月当番を決めて交代で個人の家で行っているが、一年最後の講は海雲寺(高山卓爾住職=曹洞宗)で行われる。これはその昔、間瀬に疫病がはやって

たとき地蔵を家の角々に作っておはらしたのが始まりと高山住職は語っています。そして、この行事の起源は相当古いとも……。

去る十一月二十三日、約二十人のお年寄りが集まってにぎやかに行われた「地蔵講」をたずねてみた……。

◀「百万べんはこの寛永通宝で数えるんだよ」と本間ハツさん。寛永通宝は50枚束ねてある。これで、数珠についているふさがまわってくるたびに、一枚ずつおくと数える。百回まわったところで百万べんとなる。



▲「地蔵講」を終えて、台所番が用意したあづきがゆと三平汁でお昼。一番楽しいひととき……。